

2004年度までの環境行動計画と 2002年度の成果

リコーグループは、2001年度に、2002年度から2004年度までの環境行動計画を策定しました。この計画は、製品の環境性能の向上(省エネルギー、省資源・リサイクル、汚染予防)、事業所・オフィスでの環境保全活動(温暖化防止、省資源・リサイクル、汚染予防)、グリーンパートナーシップ

リコーグループ環境行動計画(2002年度～2004年度)

1. 製品環境性能の向上と 技術開発の促進	製品の省エネルギーの推進 38ページを参照。 ・リコー省エネ目標の達成
	製品に関する汚染予防の推進 43ページを参照。 ・製品含有の環境影響化学物質(鉛・六価クロム・ポリ塩化ビニル・カドミウム)の全廃 ・製品から発生する騒音を2dB以上削減(2000年度発売製品比販売台数加重平均値) ・製品の環境影響化学物質排出基準の遵守(スチレン・オゾン・粉じんのリコー基準遵守)
	新しい環境技術の開発 40ページを参照。 ・代替ペーパー、リライタブルペーパー技術の実用化開発
2. 製品資源生産性の向上 による省資源化推進と リサイクル事業の収益 性向上	リユース部品使用量を20倍以上向上(日本極、2000年度比) 58ページを参照。
	使用済み製品、トナーカートリッジの回収を回収台数率で10%向上(リコーグループ、2000年度比) 58ページを参照。
	資源循環型製品の販売台数を20倍以上向上(日本極、2000年度比) 58ページを参照。
	使用済み製品、トナーカートリッジの再資源化率の向上 58ページを参照。 ・製品、トナーカートリッジとも98%に向上(日本極) ・製品、トナーカートリッジとも85%に向上(欧州極) ・製品は95%、トナーカートリッジは100%に向上(米州極) ・製品は85%、トナーカートリッジは90%に向上(中国・香港・台湾) ・製品は85%以上、トナーカートリッジは85%に向上(アジア*・オセアニア) * 日本・中国・香港・台湾を除く
3. 事業所・オフィスでの 環境保全活動	エネルギー使用量の削減 47ページを参照。 ・工場やオフィスからのCO ₂ の排出量を2010年度に売上高原単位で62%、排出総量で13%削減(日本のリコー、1990年度比) ・CO ₂ 排出量(売上高原単位)の20%削減(日本のリコー全事業所、2000年度比) ・CO ₂ 排出量の2%削減(日本国内のリコーグループ、2000年度比) ・CO ₂ 排出量の2%削減(日本以外のリコーグループ生産会社、2000年度比)
	汚染予防の推進 51ページを参照。 ・環境影響化学物質(リコー削減対象物質)の使用量8%、排出量50%削減 (日本国内のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社、2000年度比) ・ジクロロメタンの使用を全廃(日本国内のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社) ・CO ₂ 以外の温室効果ガスの排出量を1%増加以内に留める (日本国内のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社、2000年度比) ・オゾン層破壊物質排出量を60%削減(日本国内のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社、2000年度比)
	省資源リサイクルの推進 49ページを参照。 ・廃棄物の発生量を13%以上削減 (日本国内のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社、2000年度比) ・廃棄物の再資源化率を90%に向上(日本国内のリコーグループ非生産会社) ・用水の使用量を10%以上削減(日本国内のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社、2000年度比) ・用紙の購入量を10%以上削減(日本国内のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社、日本国内のリコーグループ非生産会社、2002年度比)
4. 顧客の拡大とコスト効果 をともなうグリーンパート ナーシップの推進	グリーン販売の推進 55ページを参照。 ・紙製品の再生パルプ使用比率を60%に向上(日本国内)
	グリーン調達の推進 45ページを参照。 ・仕入先様での環境負荷を把握し削減目標を設定(リコーグループ購買部門) ・仕入先様製造工程での特定環境影響化学物質を全廃(リコーグループ購買部門)
	グリーン購買の推進 45ページを参照。 ・グリーン購買(事務用品等)比率を100%に向上(日本国内のリコーグループ)
5. 環境経営システムの レベルアップ	環境経営指標の設定 31ページを参照。 全社監査システムの構築
	環境経営情報システムの構築 25ページを参照。
6. 環境社会貢献の推進	生態系保全のための森林保全活動の推進(リコーグループ) 63ページを参照。

*1 項目1から項目4について検証を実施。 *2 環境経営および環境保全の定義は13ページを参照。

ブの推進、環境経営システムのレベルアップ、環境社会貢献の推進などの活動分野を対象に、環境負荷の削減目標と環境経営の達成目標を定めたものです。全16の行動計画のうち12項目で、環境負荷削減と利益創出の同時実現を図る「環境経

営」のレベルに達することを目標としています。この計画は、リコーグループ内はもちろん、社会に対するコミットメントとして位置付けられています。

進捗状況(2002年度実績)	[BVQI検証済] *1	環境経営目標*2 (2004年度)
▶ imagio Neo601/751(コピー速度:60・75枚/分)で、複写機に定められている日本の省エネルギー法 2006年度基準を達成しました。コピー速度60枚/分未満の複写機では既に達成済みです。		環境経営
▶ 2002年度発売製品では、鉛、六価クロム、PVC(ポリ塩化ビニル)の削減をさらに進めました。2004年度以降、鉛、六価クロム、PVC、カドミウムを全廃した製品を発売する計画です。 ▶ カラー機の騒音を稼働時1.5db/待機時6.4db削減しました。 ▶ 2002年度発売の複写機、ファクシミリ、プリンター57機種全てでオゾン、粉じん、スチレンのリコー基準を達成しました。		環境経営
▶ 代替ペーパー、リライタブルペーパーの実用化に向けて開発を推進しています。2002年12月のエコプロダクツ展で展示しました。		環境経営
▶ リコー部品の使用量は堅調に増加し、2000年度比3.7倍となりました。		環境経営
▶ 使用済み製品の回収率の状況。(2000年度比) ・日本極:18%増。・欧州極:73%増。・米州極:26%増。・中国・香港・台湾:10%減。・アジア*・オセアニア:107%増。 *日本・中国・香港・台湾を除く。		環境経営
▶ 資源循環型製品の新品を発売したことにより、販売台数は順調に増え、2000年度比6.4倍となりました。		環境経営
▶ 再資源化率の状況。 ・製品99%、トナーカートリッジ100%(日本極)。 ・製品95%、トナーカートリッジ95%(欧州極)。 ・製品95%、トナーカートリッジ100%(米州極)。 ・製品93%、トナーカートリッジ100%(中国・香港・台湾)。 ・製品59%、トナーカートリッジ89%(アジア*・オセアニア) *日本・中国・香港・台湾を除く。		環境経営
▶ CO ₂ 排出量の状況。 ・売上高原単位で29.2%、排出総量で10.7%削減(日本のリコー、1990年度比) ・日本のリコー:0.9%削減。(売上高原単位、2000年度比) ・日本のリコーおよびリコーグループ生産会社:2.4%削減(排出総量、2000年度比) ・日本のリコーグループ非生産会社:4.4~14.8%削減(排出総量、2000年度比、各社個別目標2.0%に対して) ・日本以外のリコーグループ生産会社:2.1%削減(排出総量、2000年度比)		環境経営
▶ 汚染予防の推進状況(2000年度比) ・環境影響化学物質:使用量、36.1%削減、排出量、64.3%削減。 ・CO ₂ 以外の温室効果ガス排出量:16.3%削減。 ・オゾン層破壊物質排出量:60.9%削減。		環境保全
▶ 省資源リサイクルの推進状況(2000年度比) ・廃棄物発生量を8.0%削減。(日本のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社) ・廃棄物再資源化率が73.1~93.8%に向上。(日本のリコーグループ非生産会社*・販売会社を除く) ・用水使用量を4.5%削減。(日本のリコーおよびリコーグループ生産会社、日本以外のリコーグループ生産会社) ・用紙の購入量について実績把握を行いました。		環境経営
▶ 再生パルプの使用比率が51%に向上しました(質量比)。 ▶ FSC認証再生紙「FSC NBコピーペーパー」を発売しました。		環境保全
▶ 部品の加工環境負荷情報収集方法の検討と試算準備を開始しました。 ▶ 一部の仕入先様において、製造工程で使用する塩素系有機溶剤の代替化テストが開始されました。		環境経営
▶ 2004年度目標達成に向け活動中。2002年度の実績は購入金額比で72.6%でした。		環境保全
▶ 環境経営指標(案)を立案しました。		環境経営
▶ ISO14001認証取得15拠点の内部環境監査の有効性を確認しました。		環境経営
▶ 環境経営の指標として必要なデータについて見直しを行い、収集分野と拠点の拡大を図っています。		環境経営
▶ 2002年度に開始した事業 欧州極:森林保全および復元事業 1件 中国・香港・台湾:森林復元事業 1件 アジア・オセアニア:森林保全とそれを利用した環境教育事業 1件 *日本・中国・香港・台湾を除く。		環境保全